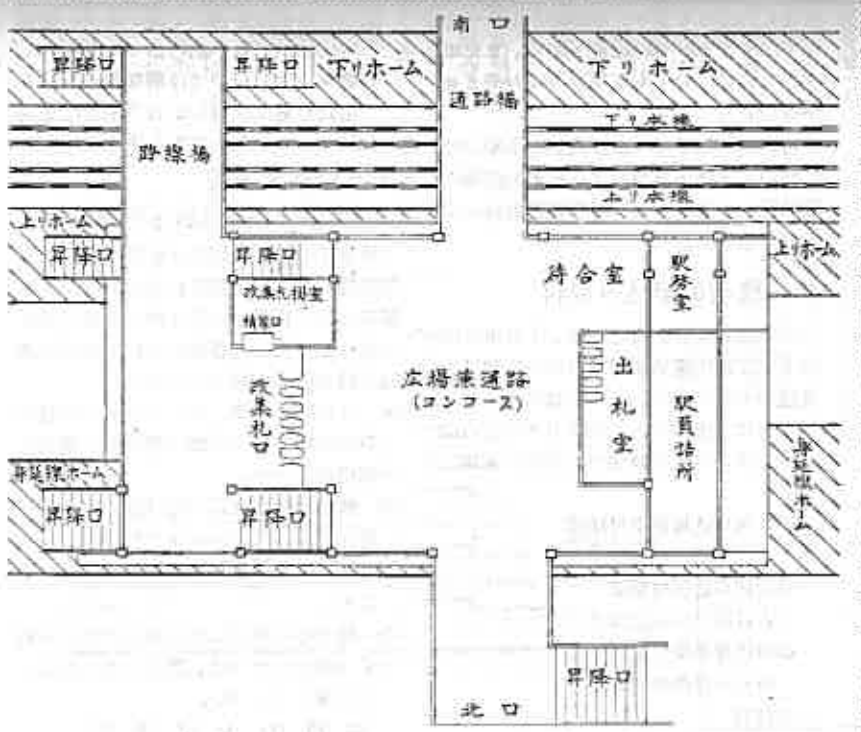
富士駅周辺の都市改造に着手

工費七億、四十五年度完成



田子浦港の開発とあわせ岳南工業都市として、めざましい躍進を続けている富士市は、明るく住みよい近代的な商工業市街地を建設するため去る昭和三十六年度から向う十カ年計画で大がかりな都市改造に乗り出しいよいよ本年度から実施の段階に入り、近く工事に取りかかることになりました。

この都市改造事業は、岳南広域都市計画の構想と田子浦港の開発および国鉄身延線西廻り、富士駅総合改修工事等に関連して、現在の富士駅の周辺、約二十一万八百五十六米（約六万三千九百坪）を区画整理し、碁盤の目のようなスッキリした道路に整備します。

総工費は約七億（うち国庫補助二分の一）を予定し、駅北（現在の駅前）一万八千五百坪を第一工区および駅南（駅南口周辺）約四万五千四百坪を第二工区にわけて、駅前広場の拡張、駅南口の開設に伴う広場の設置そして南北をむすぶ加島踏切の地下道の開設、更には主要街路の道路新設、改良などを行ない名実ともに明るい街づくりを実現しようというものであります。

まず事業の実施は前期と後期にわけ、前期に駅南地区の一部、約二万八百坪と駅北地区の約一万八千五百坪に手をつけ、昭和四十二年度までには完成、引き続き後期は駅南地区の残り約二万四千百坪を昭和四十五年度に完成する計画ですすめられています。

富士駅舎の改築

完成予定は七月一杯

長い間の懸案でありました東海道総富士駅舎の改築は、昨年十月から工事に着手し、本年七月一杯完成を目標に突貫工事が行なわれています。

旧駅舎は、すでに昨年末に取りこわしを完了しましたが、この新駅舎の改築は約一億円の工費をもって行なわれるもので、特に駅前広場をフルに活用したいとの方針から駅舎は、東海道本線および新らしく作られます身延線にまたがる橋上駅（二階）が建てられます。

この橋上駅は間口四十四米、奥行二十八米の総建坪三百七十坪の駅舎で、この中には駅長室、出札室、改集札掛室、駅詰所、待合室、改集札広間などがつくられます。

また新設される南口通路は巾五米、長さ四十五米で、この通路は北口から南口へ南口から北口へと自由自在に通行できるよう設計されています従ってこの都市改造が完成しますと、新富士駅前には母業民衆駅の建設も出来ますし、駅前の広場は現在の三倍の広さになり駅前は予想図のような立派な消火構造のビルデングが林の如く立ちならび岳南工業都市の表玄関口にふさわしい「大富士市」に生れ変ります。

消防の出初

1月7日一小で

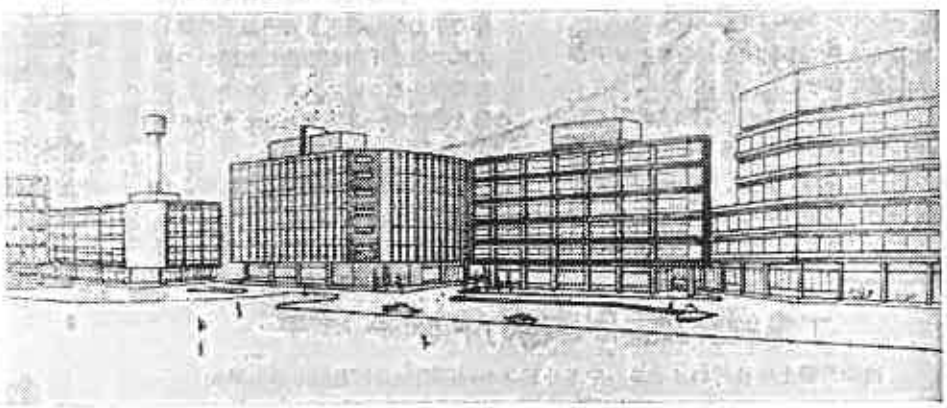
恒例の富士市消防団初出式は一月七日午前十時から富士第一小学校々庭で行ないます。

市民多数の参加をのぞんでおります。

ご用始めは1月4日から

例年どおり市役所は一月四日から執務します。

この間は一般の事務は休みになりますが、その他、緊急を必要とする埋火葬、死亡届事務だけは休日でも宿日直者が取扱いますのでお知らせします。



改造後の富士駅前